

後ろのあなたはだーれ？

花の魔術師

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

ホラー映画っていいよね。

# 目次

まず初めに	1
人物紹介	4
探索場所	7

## まず初めに

このシナリオは、和風ホラーを目指して作ったシナリオです。PLが謎解きをしやすいように元ネタの音楽名も一応のせとこうかなとは思いますが。

PLの参加条件

全員大学生かつ同窓会「成人式時の」に参加すること

@必須技能

図書館

目星

@推奨技能

交渉系技能

@ギミック紹介

このシナリオでは一人だけ死の対象に選ばれています。

死の対象に選ばれたPLはほかの人よりも複雑な生存条件があります。

ぶっちゃけるならほかのPLはこの騒動に関わらなければ何も起きません。

ターン数としては3日ぐらい「長くても5日ぐらいかな？」

死の対象者は犬鳴村の呪いでは死にません。「祖母が犬鳴村の生き残り」

死の対象者は、親戚の娘の妹の呪いを受けています。

探索者が暮らしている町は、どこでもいいですが、死の対象に選ばれた人の祖父、祖母は犬飼村から来たという設定は必須です。

HOという形で探索者に知らせる形がいいと思います。「テストプレイ時思った。」

死の対象者以外の他の方は、特に情報は増えない感じ。

一日3ターン「朝、昼、夜」と計算しています。

@簡単なプロット

探索者が同窓会に参加している

←

← 死の着信が親戚の子に届く

← 一日後親戚の子死亡

← 葬式に参加し、火葬後死の着信が死の対象者に届く。

← 探索者探索開始

← 主な探索場所

・ 警察署

・ ネット調査

・ 親戚の娘の家

← ある程度探索終了後

・ 犬飼村の図書館

・ 犬飼村の市役所

・ 犬飼村の歴史館

← 犬鳴村

← エンディング

※探索開始までが導入

探索開始から犬鳴村前までがメイン

犬鳴村が、クライマックスフェイズ

エンディングは、エンディングです。

犬鳴村に入るまでほかの探索者は特に呪われていません。

呪われているのは死の対象者だけです。「犬鳴村の呪いではなく、

妹の呪いですが・・・」

また、死の対象者の性質上、犬鳴村の呪いは受けません。

※ほかの探索者は効く

詳しい探索内容は次のページからです。

文字制限の関係上余りそうなので、ここに独白

今回のシナリオでは、KPがいつもの立場ではありません。

※この独白の内容はやつてもやらなくともどっちでもいい

KPは、親戚の娘の妹役も兼ねています。

そのため、KPは時々、妹の独白を入れることをおすすめます。

メタ的恐怖っていうものを入れてみたかった。

※ひぐらしとかドキドキ文芸部をやっている人

そのため探索の合間合間に小説のナレーション「例としてはひぐらしのなく頃にのFrederica Bernkastelみたいな立ち位置です」

まあ、ここら辺はKPによつては難しいかも  
良ければ是非。

## 人物紹介

### ①親戚の子

死の対象者といふことかそんなところ。同年代。死の対象者とは仲が良い。

この子は死者と話す能力がある。そのためほかの人よりも感受性が高いところが見られる。教師を目指している。死んだ妹とは仲がいい。

苗字は、死の対象者と同じ。

犬鳴村の呪いの被害者。

※テストプレイ時ではさとりという名前を付けた

### ②死んだ妹

①の妹。死の対象者はその存在を忘れている。

※理由としては、幼いころのイマジナリーフレンドの一種として存在していた。

そのため死の対象者のこと自体は恨んではない。

※血の運命が・・・

彼女の目的は、姉を殺した犬鳴村の生き残りを殺すことだ。

※彼女自身に死者を殺す能力はない。実際に殺したのは犬鳴村の呪いだ。

彼女を最終的に説得することが、死の対象者が生き残る方法である。

※おら、口説いてみろよ。

彼女は簡単にいえばメリーさん。人形の部分を水子に変えて、親や死の対象者に忘れてられ、最後の覚えている人「姉」も呪いによって死んだという被害者。

※彼女自身が殺した人はいない。

※テストプレイ時はいしと名付けた。

③死の対象者の母側の祖父  
セツシヨン自体には出てこない。

彼は犬飼村の住民である。

④死の対象者の母側の祖母

セツシヨン自体には出てこない。

彼女が犬鳴村の生き残り

彼女自身は犬鳴村の生き残りとは知らない。

理由としては彼女自身は孤児だからだ。

だれが彼女を逃がしたかは知らない。それは彼女の父しか知らないだろう。

⑤親戚のこの母

セツシヨン中では、短期発狂を起こしている。

そのため、娘のことまではいいが、犬鳴村もしくは犬飼村の話になると、発狂しかけ、話にはならなくなる。

また、発狂状態でなければ、腹の中で死んだ子の話も聞けるかもしれない。

⑥親戚の子の父

セツシヨン内では死んでいる。

犬飼村の住民。

父の祖父は元ダムの責任者。

詳しいことを一番知っている。

そのため、家の中に存在する日記を見れば犬鳴村の呪いの答えを知れるかもしれない。

⑦死の対象者の母

彼女は呪いを受ける対象ではない。そのため、特に何も無い。

⑧死の対象者の父

セツシヨン内では死んでいる。

親戚の子の父とはいとこ関係になる。

⑨死の対象者の父側のひい爺さん

このセツシヨン内での一番の元凶。

彼は犬鳴村の呪いを作る原因となる。

セツシヨン内では出てこない。呪いの一番最初の被害者。

彼はダム建設の責任者だった。その時犬鳴村が一番邪魔だった。



またほかの村もダムができるなら犬鳴村がなくなるくらい良かったぐらいだ。

※明治から昭和にかけてはこのように強制退去によるダムの建設や国の必要施設の建設が存在していた。一度調べてみるは？

しかし、その後の発展を考えれば必要悪だったということ鑑みれば彼もまた時代の被害者かもしれない。

## 探索場所

### ① 同窓会

同窓会では、皆が酒を飲んで楽しんでいる。

そのため、探索者の紹介や親戚のこの会話シーンを入れることは簡単だろう。

親戚のこの会話途中呪いの着信音が鳴る。

※この着信は未来からの自分から来ている。正体は死んだ妹だ。

※テストプレイ時では着信アリの某呪いの着信を使った。

※親戚の子はこの着信音をダウンロードしていない

この呪いの着信では、3日後の自分から来ていることになっている。

「明日のあなたはどうなるかしらね？」というメールと恐怖系の動画が流れる。

※私はユーチューブから恐怖動画を探した。また何かを言いつたえている感じの動画が良い。

その話について特に何もなしで進むと親戚の子は死ぬことになる。

そんなことも酒の席にはなるだろう。そんな感じで最後の方ではあなた方はそんなことがあったことすら忘れるだろう

という感じで探索者が何もしないのであるならば、KPは流そう。

彼女を助けなければ、死の対象者に選ばれた探索者の難易度が上がるだけだ。

※親戚のこが最終的に死ねば、死んだ妹が動き出すのは変わらないからだ。

そのメールをみて行動を開始するならば、この後の②、③のイベントは飛ばしていいだろう。

次の日へ動くたびに「ツギノヒ」とカタカナで打とう。

探索者はそれだけで疑い深くなり恐怖に陥れるだろう。

※そりゃあ、ツギノヒが有名なホラーゲームだからだろう。

最終日はツグノヒってうったら完ぺきだ。

※実際ツグノヒは、幽霊と人間との境界線的な意味だからある意味あつてる？

② 3日後の11時40分ごろ

死の対象者に警察から電話が来る。

親戚のこが死んだ話だ。

同窓会で一緒に話していたことから電話が来る。

他の探索者も話していた場合は電話がくる。

それ以外の場合、他の探索者はツギノヒの朝にラインかメールで死んだことを知るだろう。

③ 葬式

葬式は普通に行われるだろう。

イベントは火葬場にて起こる

親戚の子の火葬が終了してすぐの後、死の対象者に呪いの着信が来る。

「3日後のあなたは生きていられるかな？」

と親戚の子と同じ恐怖動画が送られてくる。

メールの時間は3日後のPM11時40分を指している。

④ 親戚のこの家

親戚の子の家は二階建てだ。

和室、洋室、親戚のこの部屋、親戚の子の両親の部屋がある。

和室では、仏壇があり写真がない。

※これは死んだ妹の仏壇。そのため、写真がない。水子だからだ。

洋室はいわゆる全員が集まる感じのところ。

親戚の子の部屋を調べれば日記から死んだ妹についてしれるかもしれない。

※親戚の子は日常的に妹にあつていたからだ。

親戚の子の両親の部屋では父の遺品を調べれば、犬鳴村の呪いについて知れるだろう。

※父は親戚や両親がそれによって死んだことを知っているからだ。

⑤ 警察

警察からは、親戚の子の死に方や死んだ場所を知れるだろう。

※死んだ場所は犬飼村にある橋の電話ボックス。ただし、水の後には電話ボックスの中にはない。

橋の名前は犬鳴橋

死んだ原因は、肺の中に水が入っていったことから、溺死だと考えられる。

しかし、服は濡れていない。

#### ⑥犬飼村

犬飼村には市役所や病院がある。市役所は図書館が併設されている。

また、廃トンネルがある。

※廃トンネルは最初の情報では存在しない。しかし、親戚の子の父の日記の中に存在してはいる。

図書館内では、犬飼村の突然死もしくは変死体や行方不明者について知れる。

新聞によつて、約80年前から始まったことがわかるだろう。

また、ダム建設による発展についての歴史もしれる。

ダムによつてこの村は戦後を耐え抜いたことをしれるだろう。

また、図書館を利用する、もしくは歴史によつて、ダムによる明治から昭和にかけての騒動「村潰しや強制移住」を調べてもよい。

尚ここを調べても犬鳴村についての情報は出てこない。

なぜならば、犬鳴村についての詳細な情報は消されているからだ。

また、80年前の地図を調べれば、廃トンネルが存在していたことをしれてもよい。

廃トンネルは条件を満たさない限り、入り口は大量の正方形の石が積み重ねられているため、入ることは基本出来ないだろう。ただし、一番上まで登ることで、はいることはできる。

高確率でロストするだろう。

登攀で一回成功しなければ村人に捕まり、溺死するからだ。

※死の対象者は捕まるだけだ。犬鳴村の奥にて待っていることになる。

#### ⑦電話ボックス

ある程度情報が集まれば、犬鳴橋の電話ボックスにいくだろう。ここに夜くると、電話ボックスの中の固定電話が鳴る。

その固定電話にでると、ある女性から電話が来る。「幼い声だ」

※正体は死んだ妹

であれば、犬鳴村について知れるだろう。

犬鳴村に行くにはここで夜の10時電話をならし、今すぐ行く要件を言えばいい。その時に廃トンネルの入り口は開かれるだろう。

#### ⑧ 犬鳴村

この村では、死の対象者以外は、捕まってはならない。

死の対象者の母方の祖母が元犬鳴村の出身者のため、村人に捕まらない。

捕まると、水による溺死や犬によって食べられて死ぬことになるだろう。

※犬鳴村はダムの中にあるため、朝が来ると、ココー帯が水の中になり、溺死する。

※ただし、時間制限は実際には存在しない。

探索者がこの村にくと、村人たちが現れる。

村人たちの人数は100をこえることだろう。

ただし、村人は廃トンネル「犬鳴トンネル」の入り口からくるため、探索者がもう戻れないような感じで通せんぼする。

村の奥に行くことができる。

村の奥に行くには、ナビゲートや感で行くことができるだろう。

村の奥にいけば、一人の赤ん坊がいる。

※死の対象者が捕まていればついでにいる。

赤ん坊のところ、死の対象者があやまるとか、その赤ん坊を外に連れていけば、犬鳴村の呪いは解ける。

通常の探索者はここでクリアになるだろう。

#### ⑨ 最後に

死の対象者の死の時間が来る。

ここまでに死んだ妹の存在を知れば、⑩に行く。

死の対象者は、他の探索者に気づかれずに、犬鳴橋の電話ボックスにつく。

固定電話が鳴り、死の対象者は電話ボックスの中に入らなければならない。

ただし、死の対象者の意識はあってもいいが、体がいうことが効かない。

そして電話にでる。

呪いの着信の音が電話口から聞こえる。

「さようなら犬鳴村の生き残りさん？」

後ろから気配を感じる。

小さな気配だ。「幼い感じの」

そして探索者は後ろから何かを刺され、倒れていく。  
最後に

「・・・さとりお姉ちゃん」

そういう小さな声を聴くだろう。

※テストプレイ時では、口説こうとして失敗した。

尚なーんでラツキースケベは成功するんだ？

⑩ハッピーエンド

実際死んだ妹は死の対象者を憎んでいるわけではない。ただ姉を殺した犬鳴村の住民が憎いのだ。

※そもそも死んだ妹は、イマジナリーフレンドの一人として死の対象者とも遊んでいた。大人になるのは悲しいことだね。

よって、死んだ妹を説得することが死から逃れる唯一の方法である。

彼女を説得すればいい。

※口説いたらあなたはロリコンと間違われる可能性が・・・「見た目小学生」

その後あなたは別の意味で呪われるだろう。

祝福と呪いは表裏一体だから。

クリア報酬

## S A N 1 d 6 回復

・ 親戚の子が死んだ状態で死の対象者が死んだ場合  
死んだ妹の呪い

貴方はたとえ生き返ってもいつまでも追いかけられる。永遠に妹に追いかけられる運命にある。

・ 親戚の子が死んだ状態で死の対象者が生きている場合  
死んだ妹の祝福

貴方は、どんな対象の呪い呪文も受けない。ただし、精神的なものに限る。

また幽霊と話す能力も得る。またこの祝福は子孫にも引き継がれる。

ただし、結婚はできない。子供はどっかから現れる。「親戚の子と似ている」

※よかったね。永遠に愛されるよ？

・ 親戚の子が生きている状態で死の対象者も生きている場合  
姉妹からの祝福

貴方は、どんな対象の呪い呪文も受けない。ただし、精神的なものに限る。

また幽霊と話す能力も得る。ただし、あなたの一人目の子は死んだ妹に似ている。

※高確率で親戚の子が結婚対象となる。

ハーレム主人公でもない限り。